

○講師	中須俊治氏（なかす としはる：1990年生まれ）
<p>起業内容、プロフィール 株式会社AFURIKA DOGS代表</p> <p>学生時代、単身アフリカへ。世界最貧国でみた生活の豊かさに感銘を受けた一方で、障害者差別の現状を目の当たりにする。現地の友人と「みんなが笑って過ごせる世界をつくろう」と約束して帰国。大学卒業後、地元金融機関に就職。京都の伝統技術に触れたことをヒントに「アフリカ×京都」をテーマにしたものづくりを開始する。2018年、かつて友人と交わした約束を果たすべく創業。フランス・パリでの商品発表を経て、アフリカ最貧国での社会的インパクトを最大化するファッションスタイルを提案している。社会起業家の登竜門「ソーシャルビジネスプランコンペ edge」ファイナリスト、「アフリカ起業支援コンソーシアム」支援先事業認定。</p>	

○講師	岡村芳広氏（おかむら よしひろ：1978年生まれ）
<p>起業内容、プロフィール 一般社団法人Tsuchica代表</p> <p>子どもが生まれたのを機にシンガポールから家族と共に帰国し、2015年京丹後市に移住。海外歴8年の経験を活かし、地方でグローバルに活躍出来るミライクリエイターを養成すべく、プログラミング×英語×レゴ教育を地域の子供達に実践。コワーキングスペース「アサモノヤカタ」と移住体験施設「オカモノヤシキ」を運営。それらを活用し、ライターやデザイナーなどスキルを持つ旅行者が地域で依頼された仕事を行えば無料宿泊できる施設「TENJIKU」を2019年8月にオープン。旅行者と地域との橋渡し役となる「案内人」も勤める。</p>	

○講師	小林加奈子氏（こばやし かなこ：1967年生まれ）
<p>起業内容、プロフィール 株式会社小林ふぁーむ代表取締役</p> <p>大阪府から祖母が住んでいた福知山市に「孫ターン」で移り住み、2015年から夫婦でトマト作りに奮闘。丹波福知山の地の利を活かした美味しいトマトを育てるため、科学的見地を取り入れた栽培技術と無農薬で手塩にかける愛情をかけ合わせた「かなこ農法」を実践。商品開発、販路開拓に努め、特製ジュース「とまとのじゅ〜す」が2019年2月に東京での大商談会での新製品コンテストで大賞を受賞。また、京都府が全国公募した第7回京都女性起業家賞（アントレプレナー賞）近畿経済産業局長賞受賞。「福知山トマト」を全国に広めるべく「トマトのトータルカンパニー」を目指す。</p>	

○講師	澤村健一氏（さわむら けんいち：1979年生まれ）
<p>起業内容、プロフィール イーセップ株式会社代表取締役</p> <p>大学（応用化学専攻）で博士号取得後、助手として勤務、ナノ多孔性セラミック分離膜の研究開発に従事。開発した当該分離膜の事業化を促進するため、2010年に共同研究先の日立造船（株）に入社。主任研究者時、関西経済連合会のシリコンバレーへの派遣プログラムや大阪大学のアントレプレナーシッププログラム（G-TEC）に参加し、起業・新規事業開拓について学ぶ。新規市場開拓では機動性良く活動する必要があったことから、2013年日立造船を退職し、京都府けいはんなベンチャーセンターにて創業、会社設立。2015年、京都産業エコ・エネルギー推進機構による「京都エコスタイル製品」認定や京都市ベンチャー企業目利き委員会A認定。産学連携による開発・事業推進体制を構築し、2016年に本社をけいはんなオープンイノベーションセンターに移転。ベンチャーキャピタルからの出資や行政からの支援も受け、研究開発・事業化機能を拡張。ナノ多孔性セラミック分離膜という新技術により、化学・エネルギー産業の省エネ・創エネイノベーションを目指す。</p>	